

## 報告事項 令和5年度事業報告に関する件

# 公益社団法人 全国火薬類保安協会

## 令和5年度事業報告

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

### I. はじめに

- (1) 火薬類の事故について（事故の統計については暦年で把握）

令和5年（令和5年1月～12月）の火薬類による事故は、総件数85件、死亡者なし、負傷者19名（重傷者6名、軽傷者13名）であった。

その内訳は、製造中の事故が2件（産業火薬1件、がん具煙火1件）、消費中の事故が78件（産業火薬2件、煙火59件、がん具煙火17件）、玩弄中の事故が1件（産業火薬1件）及びその他の事故が4件（産業火薬1件、煙火2件、がん具煙火1件）であった。なお、運搬中及び貯蔵中の事故は発生しなかった。

- (2) 事業の実施状況について

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法の2類から5類に移行したことを受け、火薬類の保安手帳制度保安講習等、対面方式にて実施した。

### II. 事業内容

#### 【公益目的事業】（会計区分：公益事業）

##### ア. 火薬類の保安に関する調査研究事業

- (1) 火薬類の国際化対応（自主事業）

関係業界の協力を得てIGUS(\*)関連委員会で検討される内容について、我が国としての対処方針の検討、策定を実施した。令和5年度、IGUS-EPPは4年ぶりの通常の開催となった。（4月17日～21日@マドリード）IGUS-EOSは5月24日～25日、米国ワシントンD.C.で開催された。

両会議内容等について、国際化対応委員会で報告を行った。

\*IGUS: International Group of Experts on the Explosion Risks of Unstable Substances（不安定物質の爆発危険性に関する国際専門家グループ）

\*EPP: Explosives, Propellants and Pyrotechnics（爆発性物質、推進薬及び火工品）

\*EOS: Energetic and Oxidizing Substances（エネルギー物質と酸化性物質）

- (2) 経済産業省等からの委託事業

##### a. 火薬類事故防止対策事業

学識経験者及び関係者等から構成される事故防止対策委員会において、令和5年（令和5年1月～12月）に発生した事故について、原因究明、再発防止対策の検討を実施した。

また、火薬類の事故の再発防止を図るため、がん具煙火の製造中に発生した事

故について、事故が発生した都道府県協会のご協力をいただいて1件の事故調査を実施した。部会は、製造部会、消費部会を各1回、煙火部会を2回、本委員会を1回開催した。

b. 火薬類爆発影響低減化技術基準検討事業

令和4年度は、地上式火薬庫の土堤の材料および内面が垂直よりも緩傾斜の土堤に擁壁を設置する場合の技術基準の検討を行った。本年度は、爆発飛散物の影響評価、窓ガラスの破壊状況及びガラス飛散防止フィルムによる破壊防止効果について検討を行った。（令和5年11月18日（土）～11月28日（火）に、北海道：陸上自衛隊矢臼別演習場で実施。）

c. 火薬類国際化対策事業

火薬類の保安に関する国連会議（国連危険物輸送専門家小委員会（UNSCETDG）及び国連分類調和専門家委員会（UNSCGHS）において我が国の意見を反映させるとともに、海外における火薬類の保安に係わる技術基準の動向等に関する情報を収集するため、専門家をスイスのジュネーブで開催される国連会議に派遣してきた。令和5年度はUNSCETDG及びUNSCGHSともに各2回の委員会が開催された。国内においては、4回の火薬類国際化対策事業委員会を開催、提案事項を審議した。委員会からの派遣者は7月初から開催された1回目のUNSCETDG、UNSCGHS及びWG、11月末からの2回目の部会に参加（対面）した。

これに関する一般社団法人日本海事検定協会の危険物等海上輸送国際基準検討委員会等の関連部門に、引き続き委員を派遣した。

d. 戦略的国際標準化加速事業（火薬類危険区分判定試験方法に関するJIS開発（3年計画の2年目、日本規格協会委託事業）

危険物の輸送に関する国際連合勧告・附属書 試験方法及び判定基準のマニュアル（Manual of Tests and Criteria）（以下、MTCという。）が改訂（第7版）されたことを受けて、これに準拠して制定されているJIS K 4828-1～4 火薬類危険区分判定試験方法・第1部～第4部（試験シリーズ5～8）のJISの改正原案を作成する。令和5年度は8(e)試験を行うための試験装置を設置し、試験を実施した。

イ. 火薬類の保安に関する講習・教育事業<講習事業>

(1) 火薬類の手帳制度事業

手帳制度事業に関しては、会員各位、火薬類を取り扱う各事業者、関係行政官庁のご理解とご協力を得て、厳正に運営した。

a. 講習会の開催

令和5年度の保安教育講習については、対面学習方式で行うことを決定し、全国の指定協会に通知、実施した。

令和5年度の講習受講者数は、合計16,097人であった。詳細は、表-1のとおり。

b. 手帳の交付

再教育保安講習を受講した火薬類取扱保安責任者免状所有者又は火薬類取扱従事者等に対し、火薬類保安手帳又は火薬類取扱従事者手帳を交付した新規の保安手帳及び取扱従事者手帳を2,344人に交付した。詳細は表-2を参照。

表－１ 令和５年度の講習受講者数

区 分	計 画(人)	受 講 者(人)	対計画達成率(%) (対前年増減率(%))
保安手帳再教育講習	1,000 (1,000)	852 (779)	85.2 (109.4)
保安手帳所持者保安教育講習	10,000 (10,000)	12,083 (8,451)	120.8 (143.0)
従事者手帳関係保安教育講習	3,000 (3,000)	3,162 (3,379)	105.4 (93.6)
合 計	14,000 (14,000)	16,097 (12,609)	115.0 (127.7)

注：( ) は前年

表－２ 令和５年度の新規保安手帳等交付数

区 分	交付数(人)：対前年増減率(%)
保 安 手 帳	1,979 : 103.5 (1,912)
従 事 者 手 帳	365 : 66.6 (548)
合 計	2,344 : 95.3 (2,460)

注：( ) は前年

(2) 講習に係る運営事務

講習会の開催計画の周知、受講記録、手帳交付者の登録等の事務を適確に実施するとともに、運営事務の効率化を進めるにあたって、電子メール、ホームページ等を利用した情報交換・提供を積極的に実施した。

<教育事業>

(1) 火薬学セミナーの実施

本年度は、開催せず。

ウ. 火薬類の保安に関する広報事業

(1) 「火薬と保安」誌の発行

火薬類の保安に関する唯一の専門誌である「火薬と保安」を、令和５年７月及び令和６年１月に発行した。第167号(1,350部)、第168号(1,325部)。

(2) 全火協弘報の発行

広報紙「全火協弘報」については、保安関連事項、法令改正事項、講習会開催

情報のほか、時事的情報等を含めた最新情報を適期に提供するため、毎月発行した。本年度末より、紙ベースの頒布からメール配信及びHPへの掲載とした。紙ベースでの頒布を希望する会員に対しては従来通りとした。令和6年3月までは230部/月を頒布した。

(3) ホームページの活用

本協会の業務及び財務に関する資料、講習会の案内、資格試験の案内、資格試験の合格者、事故情報を掲載するなど、ホームページの内容の充実を図り、火薬類の保安に携わる方等に役立つ情報を提供した。

登録講師用のポータルサイトを活用し、登録講師研修会の資料や講習資料をタイムリーに配信するように努めた。

(4) 出版物の発行・頒布

火薬類取扱保安責任者試験（甲種、乙種）及び火薬類製造保安責任者試験（丙種）の「過去問の回答と解説」（2023年度（令和5年度）版）及び「火薬類取締法令の要点」等を発行・頒布した。「火薬類取締法令の要点」には性能規定化に伴う省令改正を反映した。

エ. 火薬類の保安に関する資格試験事業

(1) 資格試験等事業

本年度の火薬類製造保安責任者試験（甲種及び乙種）の出願者は139名で、前年度と同等の出願者数であった。試験は令和5年11月6日（月）、7日（火）の両日に実施した。

また、火薬類取扱保安責任者試験（甲種及び乙種）及び丙種火薬類製造保安責任者試験の出願者は4,100名で、前年度比222名（5.1%）の減となった。

試験は全国47都道府県49会場で、令和5年9月3日（日）に実施した。

(2) 火薬類製造保安責任者免状の交付事業

製造保安責任者免状（甲種及び乙種）の新規交付25件、再交付0件、書き替え0件、合計25件の免状交付を実施した。

【その他の事業（相互扶助事業）】（会計区分：収益事業等）

他1. 知事免状の交付事業

1府7県（大阪府、岩手県、長野県、神奈川県、富山県、鳥取県、高知県及び熊本県）からの委託を受けて、火薬類取扱保安責任者（甲種および乙種）免状及び丙種火薬類製造保安責任者免状の新規交付397件、再交付13件及び書き替え7件、合計417件に係る交付事務を実施した。

他2. 保安講習等の支援等を行う事業

ア. 保安講習等支援事業

a. 講習用テキストの作成・頒布

保安教育・再教育講習用テキスト及び従事者用保安教育講習用の統一資料を作成して都道府県協会へ頒布し、全国レベルでの講習内容の質が維持できるように支援した。

b. 登録講師研修会の開催

登録講師研修会は1回/2年のため、令和5年度は実施せず。

c. 保安施策振興対策事業

本年度も都道府県火薬類保安協会が実施する巡回指導及び保安教育用機器等のリース費用及び購入に対する支援を、全火協の予算の許容内で効率的な運用に配慮しつつ実施した。

また、保安教育講習のCPDS（継続学習制度）学習プログラム申請者への補助制度を実施した。令和5年度の受講者数は3,049名であった。

イ. 会長表彰及び都道府県協会との会議

a. 火薬類保安管理功労者等の会長表彰（1回/2年）の実施

会長表彰は、令和5年度は実施せず。

b. 火薬類保安協会全国会議及び試験事務所長会議の開催

本年度の全国会議は、対面及びオンラインでのハイブリッド開催とした。

5月31日（水）に中央区立男女平等センター「ブーケ21」で実施。

また、手帳制度研修会を6月21日（水）にオンライン研修方式で開催した。

その他

(1) 役員研修会の実施

本年度は開催せず。

### Ⅲ. 総会、理事会の開催状況

#### 【総会】

(1) 第22回総会（定時）

開催年月日：令和5年6月14日（水）午後3時00分～4時00分

開催場所：アルカディア市ヶ谷 大雪東の間

（東京都千代田区九段北4-2-25）

出席会員数：100会員（正会員数113会員）

本人出席 21会員

代理人出席 12会員

委任状提出 26会員

議決権行使書 41会員（決議事項については全会員が賛成）

出席理事及び監事

（理事総数18名）

（理事）鶴田欣也、小川輝繁、宮道建臣、川崎勝樹、藤野徹弥、

小倉幸一、藤田新八、見上攻、横山真一郎、木村雅哉

（以上10名）

（監事）長谷川文雄、森岡憲祐（以上2名）

議事：

「報告事項」

令和4年度事業報告に関する件

「決議事項」

第1号議案 令和4年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録の承認に関する件

(1) 決算報告書（案）

(2) 付属資料

(3) 監査報告書

➡決議事項に関しては、満場一致で原案通り決議、承認された。

第2号議案 役員を選任に関する件

➡決議事項に関して異議はなく、原案通り決議、選任された。

「その他、報告・連絡事項」

連絡1 今後の会議等の予定（令和5年6月～令和6年3月）

(2) 第23回総会（臨時）

開催年月日：令和6年3月12日（火）午後2時～2時50分

開催場所：アルカディア市ヶ谷 鳳凰

（東京都千代田区九段北 4-2-25）

出席会員数： 91 会員（正会員 113 会員）

本人出席 8 会員

代理人出席 7 会員

委任状提出 33 会員

議決権行使書 43 会員（決議事項に関しては全会員が賛成）

出席理事及び監事

（理事総数 18 名）

（理事）宮道建臣、新井充、小倉幸一、川崎勝樹、川島洋和、  
佐藤成美、山内浩行

（以上 7 名）（代理出席：小川文生、山田元宏）

（監事）長谷川文雄、森岡憲祐（以上 2 名）

議事：

「決議事項」

第1号議案 令和6年度事業計画（案）及び正味財産増減計算書予算（案）に関する件

(1) 事業計画（案）

(2) 正味財産増減額 予算（案）

➡決議事項に関しては、全会一致で原案通り決議、承認された。

「その他」

連絡事項 令和6年（5月～12月）の会議等の予定

## 【理事会】

### (1) 第 35 回理事会

開催年月日：令和 5 年 5 月 29 日（月）午後 1 時 30 分～2 時 40 分

開催場所：中央区立男女平等センター（ブーケ 21）での対面  
及び Teams による Web 会議

\* Web 会議により各出席者の音声と画像が即時に他の参加者に伝わり、適時な意見表明が互いにできることを確認した。

（理事総数 18 名）

対面出席理事：鶴田欣也、小川輝繁、宮道建臣、川崎勝樹、藤野徹弥、  
小倉幸一、俵透（以上 7 名）

リモート出席理事：横山真一郎、見上攻、磯谷尚孝、木村雅哉（以上 4 名）

欠席理事：7 名

（監事総数 2 名）

対面出席監事：長谷川文雄

リモート出席監事：森岡憲祐

### 議事

#### 「決議事項」

第 1 号議案 第 22 回総会（定時）の招集に関する件

➡議案に関しては、全員一致で原案通り承認可決した。

第 2 号議案 令和 4 年度事業報告及び貸借対照表、正味財産増減計算書、  
財産目録及び特定費用準備資金の承認に関する件

(1) 事業報告（案）

(2) 決算報告書（案）

(3) 付属資料

(4) 特定費用準備資金の保有

(5) 監査報告書

➡議案に関しては、全員一致で原案通り承認可決した。

第 3 号議案 役員候補者の推薦に関する件

➡議案に関しては、全員一致で原案通り承認可決した。

第 4 号議案 名誉会長及び顧問の選任に関する件

➡議案に関しては、全員一致で原案通り承認可決した。

#### 「報告・連絡事項」

報告 1 会長等の業務執行報告

連絡 1 会議等の予定（令和 5 年 5 月～令和 6 年 3 月）

### (2) 第 36 回理事会

開催年月日：令和 5 年 6 月 14 日（水）午後 4 時 15 分～4 時 30 分

開催場所：アルカディア市ヶ谷 赤城

（東京都千代田区九段北 4-2-25）

(理事総数 17 名)

出席理事：宮道建臣、新井充、小倉幸一、川崎勝樹、藤野徹弥、須田高幸、川島洋和、佐藤成美、泉慎一、山田元宏、山内浩行、杉津雄治、櫻井康祐、木村雅哉 (以上 14 名)

欠席理事：3 名

(監事総数 3 名)

出席監事：長谷川文雄、森岡憲祐、土屋久美子

## 議事

### 「決議事項」

- 第 1 号議案 会長 (代表理事) の選定に関する件
- 第 2 号議案 副会長 (代表理事) の選定に関する件
- 第 3 号議案 専務理事 (業務執行理事) の選定に関する件
- 第 4 号議案 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときの副会長の順序に関する件

⇒ 会長に宮道理事、副会長に新井理事及び小倉理事、専務理事に川崎理事が選定された。また、副会長の順序に関しては、第 1 順位に新井副会長、第 2 順位に小倉副会長が選定、承認された。

### (3) 第 37 回理事会

開催年月日：令和 6 年 2 月 26 日 (月) 午後 3 時～午後 4 時

開催場所：中央区立男女平等センター (ブーケ 21) での対面  
及び Teams による Web 会議

\* Web 会議により各出席者の音声と画像が即時に他の参加者に伝わり、適時な意見表明が互いにできることを確認した。

(理事総数 17 名)

対面出席理事：宮道建臣、新井充、小倉幸一、川崎勝樹、藤野徹弥、川島洋和、山内浩行、(以上 7 名)

リモート出席理事：佐藤成美、木村雅哉、山田元宏、才田善之、杉津雄治 (以上 5 名)

欠席理事：5 名

(監事総数 3 名)

対面出席監事：長谷川文雄、森岡憲祐、土屋久美子

## 議事

- 第 1 号議案 第 23 回総会 (臨時) の招集に関する件

⇒ 議案に関しては、全員一致で原案通り承認可決した。

- 第 2 号議案 令和 6 年度事業計画 (案) 及び正味財産増減計算書予算 (案) に関する件

- 第 3 号議案 令和 6 年度資金運用計画 (案) の承認に関する件

⇒ 第 2 号議案と第 3 号議案は密接に関連するため、一括して



説明することの賛否を諮り、異議なく事務局から説明した。

議案に関しては、全員一致で原案通り承認可決した。

第 4 号議案 令和 6 年度常勤役員報酬の支給及び報酬額の同意に関する件

→議案に関しては、全員一致で原案通り承認可決した。

「報告・連絡事項」

報告 1 会長等の業務執行報告

連絡 1 会議等の予定（令和 6 年 3 月～12 月）

#### IV. 会員数

区 分	会 員 数
	令和 6 年 3 月 31 日現在
<b>【正会員】</b>	1 1 3
都道府県火薬類保安協会	4 5
団体	1 3
建設業	1 9
火薬類製造業	2 8
火薬類販売業	8
<b>【賛助会員】</b>	1
合 計	1 1 4

#### V. 附属明細書

令和 5 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。

